

2019年3月期第3四半期 決算説明資料

2019年2月14日

田淵電機株式会社 (証券コード: 6624)

2019年3月期 第3四半期 業績の概要

6月25日より開始した「事業再生ADR手続き」は関係各位のご支援のもと12月7日に成立しました

構造改革のポイント

1. 金融支援：国内8行から総額49.5億円の債務免除（12/25）
債務総額の44%
2. 資本増強：ダイヤモンド電機(株)へ第三者割当増資（30億円）
63百万株の発行に伴い、66.9%の筆頭株主（1/22）
3. 経営責任：全役員退任(1/22)
4. 株主責任：全役員およびTDK(株)保有の当社株の無償譲渡
5. グループ再編：子会社2社（マルシュナー・テクノ電気）の売却
6. 固定費削減：90名規模の希望退職の募集に対して77名適用

今後は、ダイヤモンドエレクトリックホールディングスの一員として再生に向けてしっかりと取り組んでまいります 誠にありがとうございました

- （電源機器・エネルギーソリューション事業）
蓄電パワコンの販売が徐々に拡大するも、産業用パワコンの低調により全体では横ばい
- （電源機器・電源デバイス事業）
アミューズメント用ADPは、前同期比43%ダウン
- （変成器・電源デバイス事業）
エアコン用リアクタおよびスイッチング電源用高周波トランスの受注は堅調に推移
- 事業再生ADR手続き完了に伴い、債権の免除等を受け、特別利益を計上

9%の減収も、固定費削減の効果もあり赤字縮小
事業再生ADR手続き完了に伴い、金融債務の一部免除等があり、最終黒字化

単位：百万円

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減
売上高	20,027	18,262	▲1,765
営業利益	▲3,440	▲1,258	+2,182
経常利益	▲3,386	▲1,127	+2,259
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲7,196	+353	+7,549

連結セグメント別業績概要

単位：百万円

	2018年3月期 3Q累計		2019年3月期 3Q累計		前年度比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
インバータ (パワーコンディショナ)	7,760		7,819		+59	
		▲3,369		▲1,425		+1,944
電源ユニット	5,034		2,833		▲2,201	
変成器	7,232	39	7,609	265	+377	+226
調整額	-	▲110	-	▲98	-	+12
連結計	20,027	▲3,440	18,262	▲1,258	▲1,765	+2,182

*セグメント利益については インバータと電源ユニットを電源機器として開示

電源機器事業

前年度比 ▲16.7%

- パワコンは蓄電ニーズが徐々に浸透し住宅用が改善するも、産業用は引き続き低調
- アミューズメント機器向けADPは前年同期比43%減少

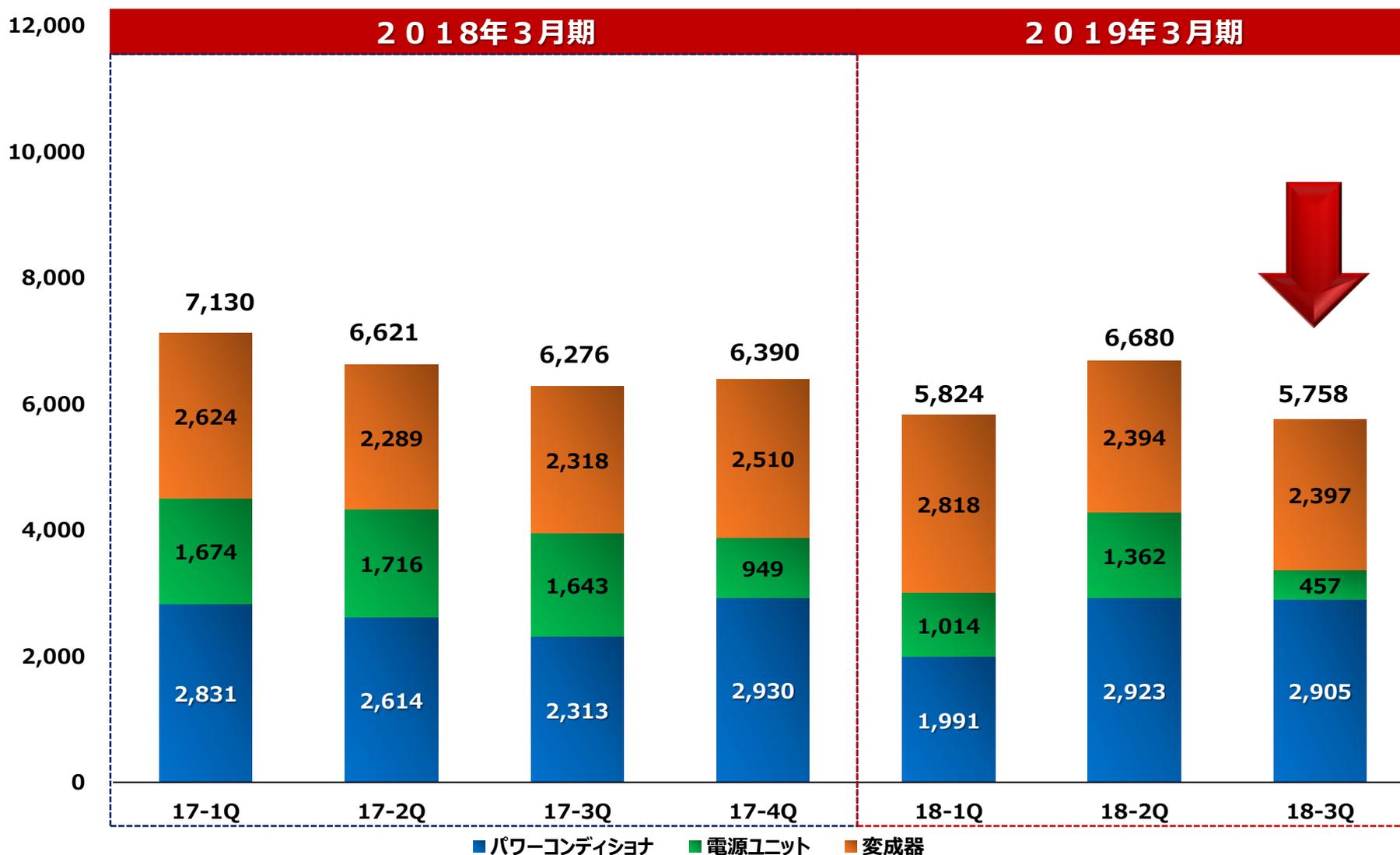
変成器事業

前年度比 +5.2%

- 引き続きエアコン向けリアクタを中心に堅調に推移

連結セグメント別売上高四半期推移

単位：百万円

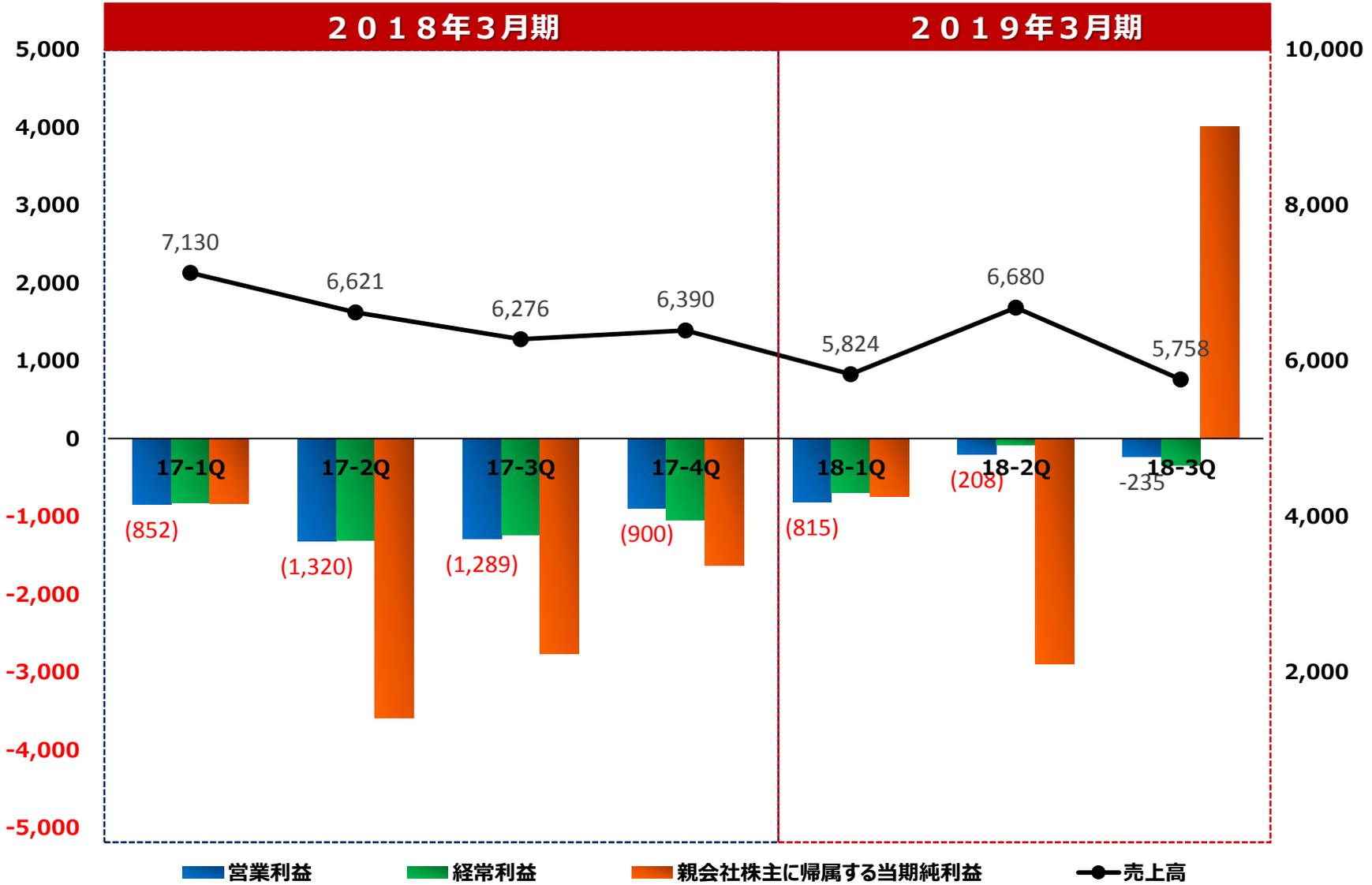


連結業績四半期推移

単位：百万円

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益（棒グラフ）

売上高（折線グラフ）



連結貸借対照表概要

単位：百万円

	2018年3月末	2018年12月末		2018年3月末	2018年12月末
現預金	2,623	2,292	仕入債務	3,735	2,914
売上債権	4,496	3,515	短期有利子負債	8,943	1,378
棚卸資産	7,482	4,158	その他（流動）	2,337	2,445
その他（流動）	996	817	長期有利子負債	1,791	4,162
固定資産合計	7,096	6,042	その他（固定）	4,613	4,452
繰延資産	0	0	純資産	1,277	1,476
資産計	22,695	16,828	負債・純資産計	22,695	16,828



今期業績予想修正

単位：百万円

	上期	3Q実績	下期 4Q予想	下期予想	通期 前回予想	通期 修正予想
	売上高	12,504	5,758	4,938	10,696	—
営業利益	▲1,023	▲235	▲442	▲677	—	▲1,700
営業利益率	—	—	—	—	—	—
経常利益	▲781	▲346	▲473	▲819	—	▲1,600
親会社株主に 帰属する当期純 利益	▲3,644	3,998	▲1,454	2,544	—	▲1,100
配当	中間 0円	—	—	期末 0円	年間計 0円	年間計 0円

注) 予想の前提となる為替レートは1ドル110円

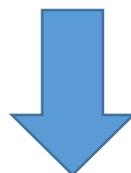
【2月14日適時開示】

継続企業の前提に関する注記の記載解消

12月7日 : 「事業再生ADR手続き」成立

12月25日 : 取引金融機関からの債務免除

1月22日 : 「ダイヤモンド電機(株)」増資払込受領



引き続き強固な事業基盤の構築に向けて、事業ポートフォリオの見直しを行い、ダイヤモンドエレクトリックホールディングスの一員として事業シナジーを高めてまいります。

TABUCHI ELECTRIC

当資料に記載されている、当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあるということをご理解ください。